



デンドロビウム・フォーミダブル新品種 「フォーミ愛知1号」の開発

—さわやかに香り、母の日に最適な省エネ品種—

開発の背景・ニーズ

デンドロビウム・フォーミダブルは、カトレアのような白く大きい花が特徴で、夏咲きの洋ランとして母の日やお中元向けに、愛知県や高知県などで生産されています。しかし、愛知県のオリジナル品種がないため、生産者団体と共同で新品種開発に取り組みました。

成果の内容

平成9年に *Dendrobium formosum* と *D. infundibulum* の交配を行い、愛知県花き温室園芸組合連合会洋らん部会と協力して、平成15年に有望系統として選抜しました。平成19～22年に特性確認、平成23年春から試験出荷、平成23年12月に育成を完了し、平成24年3月に種苗法に基づく品種登録出願を行いました。

新品種の特徴

- (1) 従来種は冬期の最低夜温を10℃、3月上旬から15～18℃にします。しかし、本品種は早生性のため、10℃のまま、4月中旬に開花し始め、母の日に安定的に出荷でき、省エネ栽培が可能です。
- (2) 1月中旬から18℃で加温すると、3月中旬開花も可能で、従来出荷できなかった時期（3月末から4月始め）の贈答用など新たな需要も期待できます。
- (3) 花が大きく、形が良いので、寄せ植えした時に、ボリューム感があります。
- (4) 清涼感のある、ほのかな芳香があります。
- (5) 花持ちは、従来品種と同程度で、2か月程度観賞できます。



表1 「フォーミ愛知1号」の開花特性

品種・系統	開花日	花数	着花節数	花の大きさ		リップの目の色
				横径	縦径	
				cm	cm	
フォーミ愛知1号	4月19日	12.2	3.6	10.5	9.5	黄色
F16	4月28日	13.7	4.5	9.9	9.3	橙黄色
竜馬	5月3日	16.2	5.8	9.6	8.5	橙黄色
調査日 2011年4～5月						

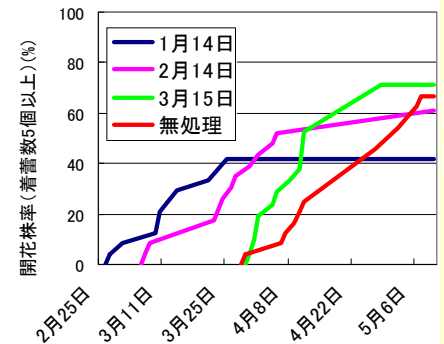


図1 暖房設定温度8℃から18℃に昇温する時期が「フォーミ愛知1号」の開花に及ぼす影響

愛知県農業への貢献

本県のオリジナル品種としてフォーミダブル生産を活性化でき、出荷時期の前進化と、省エネ生産が可能になります。